

科目名	栄養指導論（卒業必修：栄養士必修：NR・SA必修）				
授業形態	講義	学年	1		
開講時期	2022年度 後期	単位数	2		
担当教員	鈴木 秀子				
内容および計画	<p>栄養教育・指導（以下、「栄養教育」）は、人々の生活の質（QOL：quality of life）と日常生活動作（ADL：activities of daily living）の向上を目的として、教育的手段を用いて、人々の望ましい食行動の実践と習慣化を支援するために、働きかけることである。</p> <p>本講義では、人々の望ましい食行動の実践と習慣化を支援するために必要な栄養教育の理論や実践方法を学ぶ。また、ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育及び傷病者の栄養教育の実践について学ぶ。</p>				
1	<p>ガイダンス</p> <p>栄養教育の概念</p> <p>栄養教育の目的、目標、健康教育における位置づけ、わが国の栄養問題、栄養教育の対象と機会等</p>				
2	<p>栄養教育のための論理的基礎</p> <p>・日本人の食事摂取基準（2020年版）の策定方針、指標の種類と概要等</p>				
3	<p>栄養教育のための論理的基礎</p> <p>・日本人の食事摂取基準（2020年版）の活用の基本的考え方</p>				
4	<p>栄養教育のための論理的基礎</p> <p>さまざまな行動科学の理論とモデルの特徴及び栄養教育での応用の仕方</p>				
5	<p>栄養教育のための論理的基礎</p> <p>・栄養教育マネジメントで用いる理論やモデル</p> <p>・行動変容技法や栄養カウンセリングで活用する行動カウンセリングの基礎的技法</p>				
6	<p>栄養教育のための論理的基礎</p> <p>・組織づくり、地域づくりへと発展する栄養教育</p> <p>・食環境づくりにおける栄養教育</p>				
7	<p>栄養ケア・マネジメント（栄養ケアプロセス）</p> <p>・栄養ケア・マネジメントの概念、栄養ケアプロセスの必要性や手順</p> <p>・栄養ケアプロセスにおける栄養スクリーニングと栄養アセスメントの方法、栄養診断の概要</p>				
8	<p>栄養ケア・マネジメント（栄養ケアプロセス）</p> <p>栄養介入（計画）：目標設定、栄養教育計画書（全体計画・カリキュラム・学習指導案）の作成</p>				
9	<p>栄養ケア・マネジメント（栄養ケアプロセス）</p> <p>・栄養介入（計画）：教材の選択と作成、学習形態の選択</p> <p>・栄養教育プログラムの実施</p>				
10	<p>栄養ケア・マネジメント（栄養ケアプロセス）</p> <p>・栄養教育の評価の目的及び評価の種類</p> <p>・栄養教育の見直し・改善</p>				
11	<p>各論</p> <p>ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の実践（妊娠授乳期、乳幼児期）。</p>				
12	<p>ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の実践（学童、思春期、高齢期、他）。</p>				
13	<p>ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の実践（スポーツ実施時、スーパーマーケット等大型店及び地域社会における栄養教育）。</p>				
14	<p>傷病者の栄養教育の実践（循環器疾患）</p>				
15	<p>傷病者の栄養教育の実践（栄養代謝疾患）</p>				
教科書					
	タイトル	著者名	出版社	ISBN	発行年
	『新版 ヘルス 21 栄養教育・栄養指導論』	辻とみ子・堀田千津子 編	医歯薬出版株式会社	9784263707180	2020
	日本人の食事摂取基準（2020年版）	伊藤貞嘉・佐々木敏 監修	第一出版株式会社	9784804114088	2020

<b>参考書</b>				
<b>成績評価</b>				
	<b>評価方法</b>			<b>割合(%)</b>
	筆記試験			70
	課題等（リアクションペーパーを含む）			30
<b>学習到達目標</b>	栄養教育・指導の基本的理論と技術の習得 1. 栄養教育の概念について説明できる 2. 栄養教育のための理論的基礎について説明できる (1) 日本人の食事摂取基準 (2) 行動科学の理論 (3) 行動変容技法と栄養カウンセリング 3. 栄養ケアプロセスをの手順を説明できる 4. ライフステージ・ライフスタイル別栄養教育の計画が作成できる 5. 傷病者に対する栄養ケアプロセスの各段階を関連づけて解釈できる。			
<b>先修条件</b>				
<b>実務経験</b>	実務経験あり：福島県の栄養技師として、総合病院、保健所に17年間勤務した。 病院では傷病者に対する療養のため必要な栄養の指導をはじめ栄養管理や給食管理業務、保健所では地域の健康政策の企画・立案とそれに基づく健康づくり事業、乳幼児等の栄養相談、特定給食施設の指導や支援業務及び地区組織育成に従事した。 この経験をもとに、食生活論、栄養指導論、栄養指導論演習、栄養指導論実習、公衆栄養学概論について教授する。			
<b>その他</b>	必ず、予習、復習を行なうようにしましょう。			